

11月24日

テーマ：「知らずに拝んでいるもの」

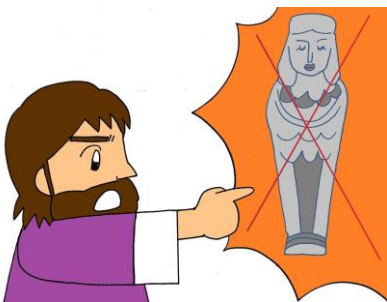
聖書箇所：使徒の働き17章16～34節

◆今日のみことば

神は、そのような無知の時代を見過ごしておられましたが、今は、どこでもすべての人に悔い改めを命じておられます。使徒の働き17章30節

◆メッセージ

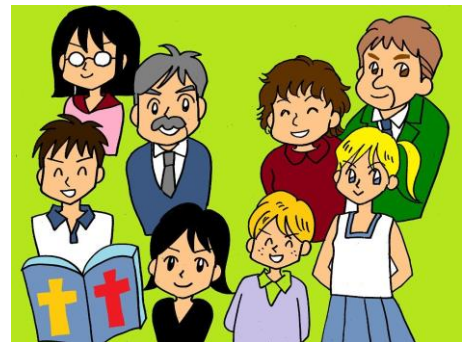
私たちが住んでいる日本には、たくさんの神社やお寺があります。そこには必ず仏像などの偶像が置いてあります。あなたは、たくさんの神社やお寺を見て、どんな気持ちになりますか。パウロさんが訪れたアテネという町には、偶像がいっぱいあったので、パウロさんは怒りました。パウロさんが怒ったことは、正しいことです。それは、アテネの人たちが天地万物をお造りになった本当の神さまを知らずに、偶像を拝んで満足していたからです。パウロさんは、アテネに住んでいる人たちに、知らずに拝んでいる本当の神さまのことを四つ、熱心に伝えました。



一つ目は、本当の神さまは天地万物を造られた方だから、人間が作った宮などには住まれないこと。二つ目は、私たちは神さまに造られた神さまの子どもだから、偶像を神さまとして拝んではならないこと。三つ目は、偶像を拝んでいたことを神さまは見過ごしておられたが、今はあやまって本当の神さまに心を向けるように命じておられるので、素直に本当の神さまにあやまればよいこと。四つ目は、本当の神さまがこの世をさばく方であるイエスさまを復活させたこと、以上のことを伝えました。

しかし、それまでパウロさんの話を聞いていたアテネの人たちも、「復活」の話を知ると、とたんに態度が変わって、その場から立ち去ってしまいました。それは、死人が復活することがどれだけでも頭で考えても理解できないことだったからです。その一方で、裁判官やほかにも何人かの人たちが、本当の神さまを信じました。ですから、パウロさんの伝道を、神さまは用いてくださったのです。

あなたは、イエスさまを信じていない家族やお友だちに、イエスさまを信じたなら天国へ入ることができるということを話したことがあるでしょうか。イエスさまの復活は、信じた私たちも復活できるという確かな証拠です。ばかにされたり、反対されたりしても、勇気を出して、知らずに拝んでいる本当の神さまとイエスさまのことを伝えていきましょう。



◆お祈り

「神さま、家族やお友だちの中に、本当の神さまを知らずに偶像を拝んでいる人たちがいます。本当の神さまとイエスさまのことを、勇気を出して伝えていきますように、助けてください。」
(くずは聖書教会牧師 石黒久浩)